令和7年度　　授業改善推進プラン　　1年　　英語 科

1 日常の学習状況・課題について

（1） ペアやグループワークを行う際に、積極的に意見を発する姿勢や相手とコミュニケーションを図ろうとする姿が全体の 9 割以上見られている。Q&A や単語練習などの決まった型での練習はスムーズに行えるが、即興的な活動はつまずく生徒が多い。

（2） 定期考査において、（中間）知識・技能 36.2／50 点、思考・判断・表現 41.1／50 点、（期末）知識・技能 27.2／50 点、思考・判断・表現 31.7／50 点の平均点だった。このことから、これらの観点の達成率の差が約 10%あり、知識・技能に課題がある。

（3） 提出物の提出率について 5～10%の生徒が達成できていない。

2 改善の計画

（1） 即興的なスピーキング活動に課題があるため、既習している内容をランダムで質問する。徐々に質問内容の単語やパターンを変え、応用の即興にも対応できる練習を行う。

（2） 知識・技能の中でも特に、英文を書く能力に課題がある。そのため、英文を書くテストの場を設け、英文を書く習慣を身に付けさせる。文法事項の進捗をみて、帯活動でもライティング活動を取り入れる。

（3） ノートの取り方の例などを示し、家庭学習でも宿題を進めるように促す。必要に応じて授業内でもワークに取り組む時間を設ける。

3 非認知能力を高めるための手だて

（1） 他者理解を育むために、固定されたペアでのやりとりだけでなく、ペアを変更してコミュニケーションを図り、相手のよさを見付け出す機会を設ける。

（2） モチベーションを高めるために、選択式の課題を用意し、自身に適した目標設定をできるようにする。

4 プランの評価方法

（1）スピーキングテスト・ライティングテストの実施で変容を見る。

（2）提出物の回収時に前学期の評価と比較する。